

英語で内容を学ぶとはどういうことか？ ～概念知識に注目して～

What is meant by learning content in English?: Focusing on conceptual knowledge

日時
2024年 **2月3日** (土)
13:30-17:00 参加無料

会場
上智大学
大阪サテライトキャンパス



大阪市北区豊崎3-12-8サクラ ファミリア 2階

申込
事前申し込み▶▶▶▶
QRコードからお申込みください
定員30名 先着順

上智大学 SOLIFIC CLILワークショップ
大阪 登録 (SOLIFIC CLIL Workshop
in Osaka Registration)

基調講演

「持続可能な教育目標 (SEGs)～CLILによる概念知識の獲得と思考力の育成～」

この講演では、CLILの学びを持続可能（長期的転移）にするための実践例を示し、理論を解説する。具体的には、最初に共通のテーマ（「色」「絵画」「異文化理解」）を扱う小中高での通常の英語と概念型CLILの教材・授業比較を行ったうえで、「概念知識力」「活用思考力」「学習言語力」からなるCLILによる持続可能学習の理論を提示する。また、そのようなCLIL的学力と大学受験指導の関係についても触れる

池田真（上智大学教授, 日本CLIL教育学会会長）



実践報告

「概念知識に着目したsoft CLILの授業実践報告～私立中高と高専での実践例～」

2023年度当初より、社会課題を英語で扱うsoft CLILを現任教4年生に対して実践してきた。その際、学習内容は概念知識をベースにして設定している。概念知識を中心に学習内容を整理することで、学生はそれらの内容を相互に関連づけたり、自身の経験との関連を考えたりしながら学習をすすめている様子が見受けられた。このように学習した概念知識を様々な場面で学習者が主体的に応用することを「学習内容の転移」と呼び、これがコミュニケーションの必然性を高めると発表者は理解している。同様に概念知識を学習内容として据えた授業を、現任教2年生に対しても実施している。こちらの授業では検定教科書を使っているため、その内容にあわせた概念知識を学習内容として設定した。この場合でも「学習内容の転移」が見られ、それによる活発なコミュニケーション活動が観測された。上記のような学習効果を、実際の授業映像や学習者の発表映像を流しながら説明していきたい。

白井龍馬（久留米高専）



体験授業

"Concept-driven soft CLIL practice for secondary school students"

This workshop aims to help teachers introduce CLIL methods into high school English classes such as English Communication. It will introduce techniques for analyzing and adapting content from MEXT-approved textbooks for Soft CLIL. In the demonstration lesson, participants will take the role of students in a lesson using MEXT-approved materials. Participants will not only experience how students improve their comprehension of the text's language but also of the underlying concept of the text: "wasei-eigo."

Matthew Davis（岡山県立岡山大安寺中等教育学校）



質疑応答とディスカッション

講師略歴

- ▶ **池田真 (いけだ まこと)**
上智大学文学部英文学科教授、学事センター長。早稲田大学政治経済学部卒、上智大学大学院およびロンドン大学キングズカレッジ大学院修了。専門は英語学と英語教育。著書に Soft CLIL and English Language Teaching (Routledge, 共著)、『歴史社会言語学入門』(大修館書店、共著) など。New Horizon Elementary English Course (小学校検定教科書・東京書籍)、New Horizon English Course (中学校検定教科書・東京書籍)、Flex English Communication (高等学校検定教科書・増進堂) 編集委員。日本CLIL教育学会会長。

- ▶ **白井龍馬 (しらい たつま)**
久留米工業高等専門学校助教。慶應義塾大学経済学部卒業後、神奈川県内の私立中高にて英語科専任教諭として10年間勤務。その後オーストラリアのDeakin University Master of Educationsを修了し、2023年度より現職。2017年度から日本CLIL教育学会中高部会長を務め、現在は同学会の会長補佐と事務局長を兼務。主に中高でのCLIL実践に関心があり、中高におけるCLILの効果や、学際的なカリキュラム構築におけるCLILの重要性などを研究。

- ▶ **Mathew Davis (マシュー・デイヴィス)**
Matthew Davis is currently a teacher at Okayama Prefectural Okayama DaiANJI Secondary School. He has been teaching English at the junior and high school level in Japan since 2010. He received his B.A. in International Affairs and Japanese from the University of Colorado Boulder and his M.A.Ed. from Okayama University. He is interested in applying CLIL methodology in English classes at the secondary school level and academic debate.

